【事業名】 おおさかで！減CO2（ゲンコツ）プロジェクト	
【事業代表者】 株式会社日本総合研究所	【共同事業者】 株式会社オズマピーアール

目的

脱炭素に係るテーマで啓発教育と販促宣伝を一気通貫で実施することで、意識・行動変容に至る生活者の間口拡大と定着化につなげ、脱炭素市場の創出を図る。

概要

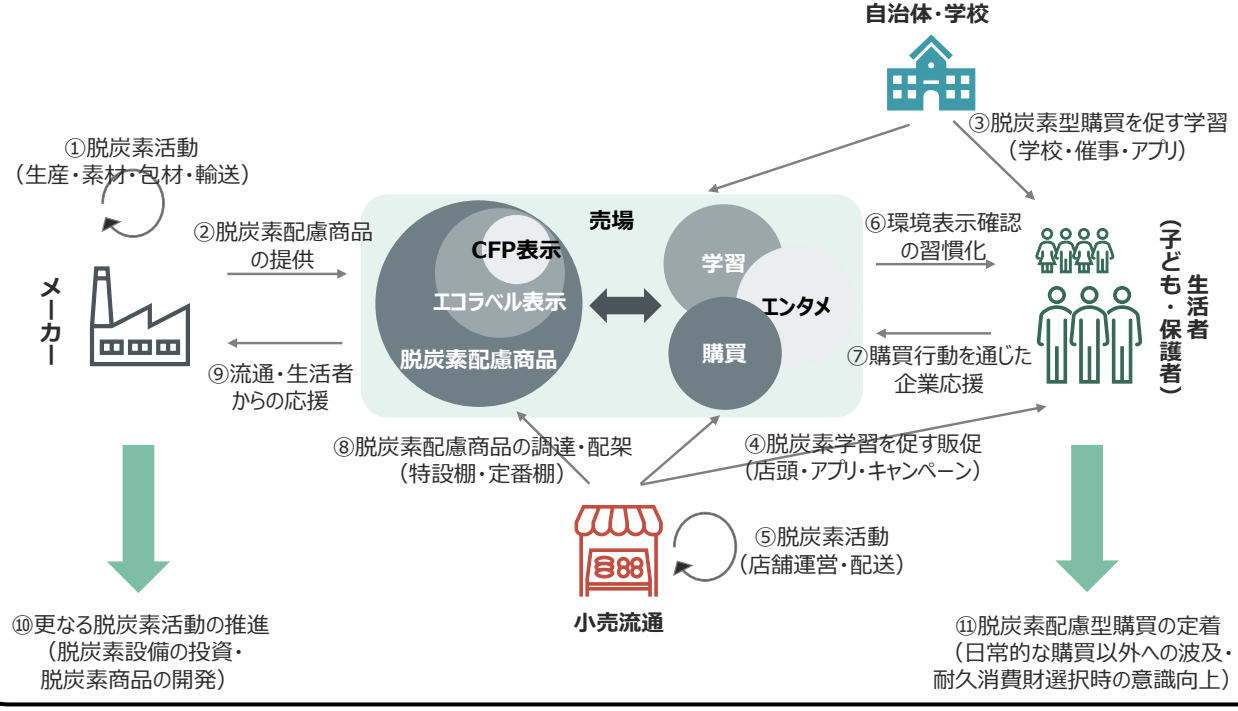
CFPやエコラベルが表示された食品や日用品などの身近な商品の認知を高め、日常の購買行動にて当該表示のある商品を探索し、選択的に購買する意識・習慣づけを行う。

◆役割分担

- 日本総研：活動を企画し、連携先の自治体・企業群の協力を得て活動を推進する。学習啓発コンテンツの開発や行動変容データの分析を担う。
- オズマPR ：日本総研が企画する対外発信・コミュニケーションをサポートする。グリーンな広告のあり方を検討する。

◆連携先

- 大阪府＊ ：催事の開催や府内全小学校等へのキット配布等を通じて、日本総研とともにCFPや脱炭素行動変容を啓発する。
- CCNC＊ ：CFPやエコラベルが表示された商品の提供、当該商品を陳列する売場・棚の提供、行動変容を促す販促キャンペーン、を行う。



＊「みんなで減CO2（ゲンコツ）プロジェクト」による府民の脱炭素行動変容に関する連携協定締結について」（2024年3月27日発表）の連携協定に基づき協力する
＊CCNC（チャレンジ・カーボンニュートラル・コンソーシアム）：生活者の脱炭素への意識・行動変容を促すことで、企業の脱炭素の取り組みを加速させ、脱炭素社会を構築することを目指し、小売流通・メーカー・脱炭素ソリューション・販促支援など全15社が参画するコンソーシアム

◆活動内容と目論見

- 大阪府との連携により府民に対して脱炭素型購買を促す学習機会（催事開催、全小学校向けキット配布、アプリ提供）を提供する。
- 大阪府内の食品スーパーやドラッグストアなどの身近な売場に、CFPやエコラベルが表示された食品や日用品などの身近な商品を、棚やPOP等を通じた統一的な訴求を実施し、購買時のCFPやエコラベルが付いた商品の探索・選択の習慣化を図る。